

夏見廃寺について パート2

夏見廃寺展示館の中をしてみよう

入館した正面にある

奥に再現してある埴佛 復元

裏にある夏見廃寺跡

堂塔はどのような建物かの想定 どう想定出来たか

出土した軒瓦の確認から検討が出来る

軒平瓦は、連なっている。



奈良時代の寺の瓦

夏見廃寺の瓦 参考文献 『夏見廃寺の研究』『軒平瓦の残存率から見た夏見廃寺の堂塔』 山田猛

夏見廃寺出土瓦

出土軒丸瓦の種類			軒丸瓦				小計	軒平瓦			小計
			A群	B群	C群			B群	C群		
			白鳳期		天平期	平安前期		白鳳期	天平期	平安前期	
			単弁素弁 (I)	川原寺式系 (II)	6282型式 (III)	単弁重弁 (IV)		重弧文 (I)	6282型式 (III)	単弁重弁 (IV)	
遺構別出土傾向	金堂	破片数	10 (6)	72 (39)	85	17	184	55	87	11	153
		%	(45)		(46)	(9)	(100)	(36)	(57)	(7)	(100)
	塔	破片数	0 (0)	8 (10)	59	9	76	4	82	4	90
		%	(10)		(78)	(12)	(100)	(4)	(91)	(5)	(100)
	講堂	破片数	2 (4)	5 (9)	41	4	52	55	5	2	62
		%	(13)		(79)	(8)	(100)	(89)	(8)	(3)	(100)
	その他	破片数	27 (13)	82 (40)	67	31	207	50	57	9	116
		%	(53)		(32)	(15)	(100)	(43)	(49)	(8)	(100)
	計	破片数	39 (8)	167 (39)	252	61	519	164	231	26	421
		%	(45)		(48)	(12)	(100)	(39)	(55)	(6)	(100)

軒平瓦の残存数から建設時の様態について推測 残存率はほぼ平等と考えると、その率が近似値を求める

堂塔	軒平瓦数	単層なら	重層なら	三層なら	五重なら
金堂	153	38%	21%	—	—
塔	90	49%	—	20%	16%
講堂	62	26%	14%	—	—

夏見廃寺はいつ造られたか

金堂について、天武天皇の詔 14年(685年)3月27日には、家ごとに仏舎を作り礼拝供養せよ。

持統天皇8年(694年)5月11日に勅

金光明經一百部を持って、諸国に送り置く 必ず年毎の正月の上玄に取りて読め

出土品 大形多尊埴佛出土品(同版の二光寺廃寺出土) 併せて『甲午年五月中』になる。694年

夏見廃寺金堂は国家の指示に基づいて建立 国家は、天武天皇、持統天皇の詔塔と講堂は

神亀二年、725年ころの発願。 神亀元年に即位の聖武天皇である。

寺院の造営には、約20～30年かかる。 おおよそ725年～755年の製作期間。

毛原廃寺と同じ瓦が使われていた

平城京にも使われた瓦が毛原廃寺、夏見廃寺に使われていた。(松林苑)  
(平城宮出土軒瓦編年第Ⅱ期先行 Ⅱ期：721～745年)

聖武天皇 天平13年3月24日の詔(741年)

各国に七重塔を建て、『金光明最勝王經(金光明經)』と『妙法蓮華經(法華經)』を写經すること、自らも金字の『金光明最勝王經』を写し、塔ごとに納めよ

国毎に建てる国分寺は僧20人を住まわせ 国分尼寺には尼10人とせよ

寺の名は金光明四天王護国之寺とし、尼寺の名は法華滅罪之寺とせよ

毎月8日には、必ず金光明最勝王經を転読し、月の半ばに受戒の羯磨を暗誦し

毎月の六齋日(月に6日の精進日) 漁獵や殺生の禁止。国司らは検査を加えよ

岩屋瓦窯

毛原廃寺、伊賀国分寺、夏見廃寺、才良廃寺、長樂山廃寺、鳳凰寺廃寺の瓦供給瓦から見た寺の建立

	持統天皇	文武	元明	元正	聖武天皇	孝謙	淳仁	称徳	
夏見廃寺金堂	◎								694年完成
夏見廃寺 塔					◎--◎				725-759
夏見廃寺 講堂					◎--◎				725-759
毛原廃寺					◎--◎				724-759
伊賀国分寺					◎--◎				741
平城京 松林苑					◎				729

参考文献 「毛原廃寺の研究—基礎資料の集成と若干の考察—」松田真一・近江俊秀  
(『檀原考古学研究所紀要』) 「夏見廃寺の研究」山田猛

薬師寺縁起(前田家本) 託基皇女の項

一品託基皇女 建立観音寺 字植山寺 伊賀国河津郡 以神亀二年奉為  
浄御原天皇多藝内親王

植山寺とは 夏見廃寺は山の上(植)にあるので上(植)山寺

観音寺とは 岐阜市にある美江寺の十一面観音立像がここにあった。

十一面観音菩薩があったことから観音寺

夏見廃寺 に出土した埴仏

大型多尊埴仏 三尊仏 独尊仏 小型独尊仏

復元に表現されていない埴仏 迦楼羅 獅子

埴仏の作成は百濟王がかかわった

毛原廃寺の役割 参考文献 「毛原廃寺の研究—基礎資料の集成と若干の考察—」  
松田真一・近江俊秀 (『檀原考古学研究所紀要』)

山林修行 自然智宗 「虚空蔵求聞持法」に基づく修行 記憶力増強

以上

